

記者発表（資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名	電話番号	発表者名	その他 配布先
10／3（木） 10時	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科	(078) 891-7376	研究科長 室崎 益輝 (神戸防災キャンパス経営部長 多田 幸雄)	—

「減災復興 国際シンポジウム」の開催について

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科では、本年4月に博士後期課程を開設したことを記念して、「阪神・淡路大震災から25年」をテーマに、「減災復興 国際シンポジウム」を下記のとおり開催します。

記

- 1 主催 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科
- 2 後援 国際防災・人道支援協議会
- 3 日時 令和元年10月4日（金） 13:30～17:00（受付13:00～）
- 4 会場 国際健康開発センタービル9階 国際会議室（神戸市中央区協浜海岸通1-5-1）
- 5 テーマ 阪神・淡路大震災から25年
- 6 内容
 - ・開会挨拶 太田勲（兵庫県立大学学長）
 - ・博士後期課程学生紹介
 - ・特別講演
 - 「阪神・淡路大震災からの遺産：25年の災害復興理論」
ロバート・オルシャンスキー（イリノイ大学名誉教授）
 - 「阪神・淡路大震災からの遺産：25年の災害復興実践」
ローリー・ジョンソン（ローリー・ジョンソン・コンサルティング代表）
 - ・パネルディスカッション
 - 「阪神・淡路大震災から何を学び未来に伝えるのか」
（パネリスト）
ロバート・オルシャンスキー（イリノイ大学名誉教授）
ローリー・ジョンソン（ローリー・ジョンソン・コンサルティング代表）
小林郁雄（人と防災未来センター上級研究員、兵庫県立大学特任教授）
大西一嘉（神戸大学大学院工学研究科研究員）
（コーディネーター）
澤田雅浩（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授）
 - ・閉会挨拶 室崎益輝（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長）

【参考：減災復興政策研究科博士後期課程の概要】

- ・開設時期 平成31年4月
- ・入学定員 2人（初年度入学者数3人）
- ・修業年限 3年

（問い合わせ先）

- ・本シンポジウムに関すること
兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科（准教授：馬場）TEL 078-271-3292
- ・本研究科全般に関すること
兵庫県立大学神戸防災キャンパス経営部総務学務課（課長：西谷）TEL 078-891-7376



減災復興 国際シンポジウム

テーマ

「阪神・淡路大震災から25年」

主催 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科

後援 国際防災・人道支援協議会

日時 2019年10月4日(金) 13:30 ~ 17:00 (受付13:00 ~)

会場 国際健康開発センタービル 9階 国際会議室 (神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1)

プログラム(敬称略)

13:30 開会挨拶 太田 勲(兵庫県立大学学長)

13:35 博士後期課程学生紹介

13:45 特別講演

「阪神・淡路大震災からの遺産：25年の災害復興理論」

ロバート・オルシャンスキー(イリノイ大学名誉教授)

「阪神・淡路大震災からの遺産：25年の災害復興実践」

ローリー・ジョンソン(ローリー・ジョンソン・コンサルティング代表)

15:15 ~15:30 休憩

15:30 パネルディスカッション

テーマ 「阪神・淡路大震災から何を学び未来に伝えるのか」

パネリスト ロバート・オルシャンスキー(イリノイ大学名誉教授)

ローリー・ジョンソン(ローリー・ジョンソン・コンサルティング代表)

小林 郁雄(人と防災未来センター上級研究員、兵庫県立大学特任教授)

大西 一嘉(神戸大学大学院工学研究科研究員)

コーディネーター 澤田 雅浩(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)

16:45 閉会挨拶 室崎 益輝(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長)

司会：馬場 美智子(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)

講演者・パネリスト・コーディネーター プロフィール



ロバート・オルシャンスキー(イリノイ大学名誉教授)

イリノイ大学アーバナ・シャンペイン校都市地域計画学部で28年間勤務し、現在名誉教授。世界各国の大規模災害における復興計画・マネジメントを研究。著書に、Opportunity in Chaos: Rebuilding after the 1994 Northridge and 1995 Kobe Earthquakes (available online)、Clear as Mud: Planning for the Rebuilding of New Orleans (APA Press, 2010)などがある。



ローリー・ジョンソン(ローリー・ジョンソン・コンサルティング代表)

Texas A&M大学で地球物理学の学士号、都市計画学の修士号、京都大学で情報学の博士号を所得。災害復興とリスク管理を専門とする都市計画家として国際的に活躍。全米及び全世界において学際的な観点から災害復旧・復興に携わる。2006年コンサルタント会社を設立、コミュニティ、政府、産業の自然災害や気候変動への対応を支援。Earthquake Engineering Research Institute (EERI) 会長。著書に、「After Great Disasters: An In-Depth Analysis of How Six Countries Managed Community Recovery (2017)」がある。



小林 郁雄(人と防災未来センター上級研究員、兵庫県立大学特任教授)

神戸大学工学部建築学科卒業。大阪市立大学大学院工学研究科都市計画専攻修了。都市・計画・設計研究所勤務。地域計画、市街地整備、住民主体のまちづくりまで幅広く都市プランニングを専門とする。1986年にコー・プラン(CO-PLAN, Inc.)を設立。阪神・淡路大震災後は、被災地の復興に多く携わる。1995年、阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワークを立ち上げ、世話役を務める。現在は人と防災未来センター上級研究員、兵庫県立大学特任教授。



大西 一嘉(神戸大学大学院工学研究科研究員)

神戸大学大学院工学研究科建築学専攻修了。博士(工学)。神戸大学大学院工学研究科建築学専攻准教授、同・都市安全研究センター協力教員を経て、神戸大学を退職後、現在は神戸大学大学院工学研究科研究員、美作大学非常勤講師、特定非営利活動法人安心安全のまちづくり機構副代表。専門分野は防災福祉計画。著書に、「災害から一人ひとりを守る」(神戸大学出版会)、「これからの安全都市づくり」(学芸出版社)などがある。



澤田 雅浩(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科准教授)

2000年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程単位取得退学。博士(政策・メディア)取得。長岡造形大学准教授などを経て、2017年4月より現職。専門は地域計画、防災計画。公益社団法人中越防災安全推進機構理事、公益財団法人山の暮らし再生機構理事を務める。著書に「中越地震から3800日 復興しない被災地はない」(ぎょうせい)、「災害フィールドワーク論」(古今書院)など。